

宿屋の亭主 (きゆうにいていねいに) あ、あなたは……？

「北風」 おれは北風だ。

宿屋の亭主 北——？ わ、わたくしは、——わたくしはあなたにお目にかかりたくってここまで
まいったのでございます。——(ひとりごとのように)でも、ああ、お目にかかれてよかったです。……

「北風」 ………

宿屋の亭主 わたくし、あなたに、お願いがあるのでございます。——ぜひきいていただきたいの
でござりますが……

「北風」 ………

宿屋の亭主 わたくしは、町で、十年ももう宿屋をしておりますいたって正直ものでございますが、
じつは。——じつはその。——わたくしのところに、その榆の木があったのでございます。……

「北風」 ………

宿屋の亭主 その榆の木を。——その榆の木をあなたがおふき倒しになったのでございます。——い
え、それを——それをなにもとやかく申すんではございません。——申すんではございませんが、
もう一つ、その、わたくしどもの門の戸をかたっぽうおふき倒しになりました。——いえ、それ
も、わたくしどもで両方しめておきましたのが悪かったのでございますが……

「北風」 ………

宿屋の亭主 それと、もう一つ、わたくしどもで大切にしております、わたくしどもでもう一番い
い牝牛めうしを、——なにお気にさわったか知りませんが、その牝牛を、へへ、あなたはおふき飛ば
しになりました。——いえ、しかし、しあわせと遠くへは行かず、となりのうちの牧場まきばに無事で
おりました。——これはひとつに神さまのおめぐみとっております。

「北風」 それがどうした？

宿屋の亭主 (キョトンと) へえ。

「北風」 だからどうだというんだ。

宿屋の亭主 へえ、その。——でございますから、その……

「北風」 ………

宿屋の亭主 べんしようして、その、いただきたいのでございますが……(どつきゆうに風にふき
つけられてよろける)あなた、——それは、あなた。——こんなにしずかにお話ししているもの
を……

「北風」 ………

宿屋の亭主 枯かれてしまったんです。——榆の木は枯れてしまったんです。……

「北風」 (風をやまず) 枯れたらまた植えるがいい。

宿屋の亭主 そうは行きません。